くがはら

発　行：わがまち大田久が原地区推進委員会
編　集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原2-19-3
（３７５２）４２７１
題字　三木　兼吉

障害のある人に対して理解を更に深めていただくために
「10月は障害者福祉強化月間です」

久が原地区管内	人口	男	12,423人
		女	12,550人
		計	24,973人
	世帯		10,879世帯

平成11年9月1日現在

大田区立松仙小学校
地域社会との連携の中で育つ子ども

昨年末に新学習指導要領が告示され、先日は平成十二・十三年度に行われる移行措置が示されました。

今、各学校では、平成十四年度から行われる新学習指導要領と、完全学校週五日制の実施に向けて、特色ある教育活動を模索しているところです。

本校では、地域社会や保護者の皆様などにお力添えをいただいたり、恵まれた自然環境を活かしたりして、多様な教育活動を進めてまいりました。

ここでは、本校の子どもたちを取り巻く環境や教育活動の一端を紹介し、これらをさらに成長させて、十四年度に備えたいと存じます。

○きれいな街で

私は毎日、久が原駅から学校までの道を歩いています。街並みが整い、どの家の木々も丁寧に剪定され、四季折々の花が咲き乱れています。

このように静かできれいな街で生活する子どもたちは、穏やかで、素直で、また動植物を愛する人間に成長しています。

○地域の方々に見守られて

入学式や運動会、卒業式などの学校行事には、自治会長や青少対、保護司、民生委員などの皆様にお越しいただき、子どもたちの学校生活をご覧いただくとともに、励ましていただいております。

子どもたちは、このように多くの皆様に見守っていただいていることを実感し、心の支えになっています。

○地域の方々との交流の中で

本校では三年生の祖父母の方々にお越しいただき、年一回交流給食を行っています。

当日は、クラスごとに昔の生活や遊び、戦争体験などをお話ししていただき、社会科の学習に活かしています。

子どもたちは、おじいちゃん、おばあちゃんのお話に真剣に耳を傾けています。その後、子どもたちと給食を召し上がっていただきます。

「こんなに手の込んだ献立なのですか。」

「味付けもちょうど良く、美味しいですね。」などと言っていただいております。

子どもたちの心に残る交流給食

子どもたちにとっては、小学校生活の中で、思い出に残る楽しいひとときであり、学校にとっても大切にしている行事の一つです。

地域社会の方々には、このほかに、おもちつき大会や夏休みキャンプ、資源回収など、子どもたちの健全な育成のために、さわやかな汗を流していただいております。

私たちは、このように温かく子どもたちを見守り、育んで下さる地域社会の皆様に、深く感謝申し上げます。

これからも特色ある教育活動の充実のために、お力添えを賜りますようお願いいたします。

（校長　三石光子）

青少対委員とPTA連絡懇談会

今年の連絡懇談会は、富田会長のあいさつ、夏休みの過ごし方について、田園調布警察署毛塚少年係長さんのお話から始まりました。

青少対の事業計画、活動内容説明後、大森十中の岩浅校長先生にもご参加いただき、「夏休みの子どもの生活と、家庭と地域の関わり方について」ディスカッションを行いました。

次の時代を担う子どもたちへの不安や期待の思いを力強く感じるとともに、一人でも多くの健全育成、青少対活動の参加協力を願っています。

（青少対　上野義之）

救急講習会
久が原会館で開催

大田区明るい社会づくり久が原地区委員会では、恒例の夏季研修を「救急講習」と決め、田園調布消防署のご協力により、八月八日（日）久が原会館で実施しました。講習には地域の皆様にも呼びかけ、七十八名の参加を得て、実践体験を行いました。

呼吸、脈拍の確認や人工呼吸の要領など、実務の指導講習でした。

（川又　浩）

《連載　久が原地区の公共施設ガイド・その4》

ナイターもできる『東調布公園野球場』

今回は、東調布公園野球場を紹介しましょう。この野球場では、軟式野球、ソフトボール、キックベースの各種目をすることができます。面数は一面しかありませんが、ナイター設備も備わっています。

この野球場を使いたい人は、予約申し込みが必要です。申し込みは電話でできます。申し込みの後、利用者を決定します。当選した人は、公園管理事務所で、利用申請と料金支払いをすることになります。

一回の利用時間は、二時間単位です。利用時間帯は、月によって変わり、四月は九時～十七時、五月～十月は九時～二十一時、十一月～三月は八時～十六時です。

●うぐいすネットで申し込み

「うぐいすネット」という大田区公共施設利用システムがあります。これは、利用者登録をすれば、施設の抽選申し込みや、空き施設の予約等が電話でできる、コンピュータを利用したシステムです。ただし、利用者登録が必要です。近くのうぐいすネット対象施設で登録の手続きができ、登録カードがもらえます。

◆うぐいすネットの電話番号
（５４９３）５４８９

◆東調布公園管理事務所
南雪谷五の十三の一
電話（３７４１）１９４６

（佐々木琢磨）

救急車に出動依頼するとき

昨年十二月十五日より、田園調布消防署久が原出張所の救急隊の活動が始まりました。

昨冬は、インフルエンザ流行のためか、出動件数は例年より多い、一日十件以上にのぼったとのことです。

救急車には救急教育・訓練を十分に受けた隊員三名、時には医師・看護婦・ソーシャルワーカーも同乗します。

救急車と五十種ほどの装備機材の合計金額は、二千七百万円にも及ぶ高価なものです。これを軽微な症状の人がタクシー代わりに使われたらたまりません。

コストの点や、隊員の士気への影響は見逃せません。より深刻なのは、本当に重症の人が出動依頼しても、他の消防署地域より出動となれば、到着が数分は遅れますし、しかも、この数分が明暗を別けるケースが多くあることです。ですから、皆さん、救急隊の利用は適正にお願いいたします。

（南自治会　市川雅一）

盆踊り
二か所でにぎやかに

恒例の盆踊りが、日を替えて、ダイシン駐車場とライラック通りの二か所で開かれました。両会場とも好天に恵まれ、夕涼みを兼ねた見物の人たちでにぎわいました。

七月末、ダイシンの駐車場では、東久が原商栄会の盆踊りが行われ、女性たちの踊りのほか、ハワイアン・ダンスもありました。また、夜店も出て、子どもたちの人気が集まり、盛況でした。

久が原ライラック通り商店街では、八月一日、通りを一時通行止めにして、ヤグラを巡って踊りの輪が続きました。こちらではくじ引きが行われ、夜半まで歓声が上がっていました。

（天野重夫）

夏休み子どもキャンプ
大富士に『こどもむら』開村

今年も、夏休み子どもキャンプは、八月二十二日～二十三日富士山の麓、国立中央青年の家で行われました。当日は久が原会館に集合し、期待に胸膨らませながら、一路現地に向けて出発しました。

到着後、開村式を行い、ジュニアリーダーと一緒になってテントを組み立てました。それからロープタイ作りの班活動。真夏の暑さの中でも子どもたちは元気一杯でした。

野外炊飯では、全員でカレーライスの調理。出来不出来はありましたが、楽しい夕食を共にすることができました。夕食後のキャンプファイアは、ジュニアリーダーと共に全員がまさに燃えました。これらは、子どもたちにきっと良い思い出として残ることでしょう。

翌日は六時に起床して、富士山をバックにラジオ体操。朝食後、御胎内清宏園での洞窟探検へと続きました。また、「土に還る木」の製作では、皆が一生懸命作業している姿が、とても印象的でした。

日程を終え、久が原へと向かったバスは、車中ジュニアリーダーの歌詞指導とゲームで盛り上がっているうちに、無事到着しました。

このキャンプを通じて、子どもたちは集団生活という場面で仲良く、助け合いました。非常に暑かった二日間でしたが、子どもたちは勿論、大人にとっても有意義な体験であったことに違いはありません。

（青少対　小倉　泰）

EVENT 情報

鎌倉らくらくハイキング（天園コース）

【月　日】10月31日（日）
【集　合】久が原駅８時集合
【参加費】大人1,400円　小人700円
【問合先】久が原特別出張所
【電　話】（３７５２）４２７１
※山々が色づき始めた古都の散策をご一緒にしませんか。

アタックくがはら Part3

【月　日】３月５日（日）
【時　間】9:00～12:00
【集　合】松仙小学校集合
【問合先】久が原特別出張所
【電　話】（３７５２）４２７１
※私たちの町「久が原」をめぐり歩けば、新しい発見ができるかも。

室内スポーツを楽しむ会

【月　日】３月５日（日）
【時　間】13:00～15:00
【集　合】松仙小学校集合
【競　技】インディアカ・ビーチボールバレー・ドッヂボール

東京都洋上セミナー
中国派遣に学ぶ

中国洋上セミナー研修は、僕の十六年の人生の中で最高の経験だったと思います。

観光旅行では体験できない、中国の人の家庭を訪問することができました。正直言って、僕は、中国の家は汚いというイメージをもっていましたが、実際に行って自分の目で見てみると、きれいだったことなど、初めて解ったことがたくさんありました。研修の最後に心から言いたい。

「友達は最高だ！」

（KJLC高二　吉田良平）

◆僕は、今回中国に行かせて下さった方々に、感謝をしたいと思います。

中国に行き、目で見、耳で聞き、口にした食べ物などは、どれも驚くことばかりでした。

そして、友達になった中国人を見て、話して、自分が今まで何をしてきたのか、自分はなんて恵まれているのだろうと思いました。こんな素晴らしい機会はもうないかもしれませんが、僕たちの思い出を後輩の人たちに伝えていきたいと思います。

（KJLC高二　川上　聰）

エッセー
「かなこちゃん」

昨年の夏、「こんにちは、かなこです。久原小の二年生です。」で始まるかわいいお礼状をいただきました。昨年の五月に朝顔の苗がたくさんできたので、ガレージの前において、「ご自由にどうぞ。」と、立札を立てておいたのです。

朝顔と風船かずらの苗約百鉢は、四時間位できれいになくなりました。きっと散歩の方々がお持ちになったのだと思います。そして、二、三日してかわいい封筒のお礼状が届いたのです。かなこちゃんだけでなく道で会ったご近所の奥様が、「きれいに咲きましたよ。」と声をかけて下さったので、すごく、うれしい思いをしたこともあります。

今年は、朝顔の苗を、お礼を言ってくださったかなこちゃんとご近所の奥様にお届けしました。かなこちゃんのお家の玄関のところに、手紙を添えておいたのです。

翌々日に、また、かわいい封筒がポストに入っていました。封を開けてみると、ピンクの便箋に、お礼と去年の朝顔がいっぱい咲いたことが、きちんとした字で書かれていました。そして今年の苗も大きくして、いっぱいの花を咲かせてみます、とも書いてありました。再度のかなこちゃんからの礼状だったのです。なんとも言えないうれしさで、家族に見せました。

実は、すぐご近所にいながら、私はまだかなこちゃんのお顔は知らないのです。でも夕食の時などに、朝顔のことを一生懸命お父さんやお母さんにお話しているかなこちゃんの様子を想像して、とても暖かい気分に浸っているのです。

（たかはしふさこ）

講演会
十中校区健全育成協議会に参加して

去る七月九日に催された講演会に、青少対の一員として、初めて参加させていただきました。その折の一番の印象は、保護者が私の予想より少なかったことでした。

夏休みに入る直前の時期でもあり、「性に関する心のあり方」という世相的にもタイムリーなテーマなのに、と思ったのですが意外でした。

その原因を自分なりに考えてみたのですが、はっきり致しません。保護者サイドには関心のないテーマだったのか、または地域的に適切なテーマでなかったのか、或いは単なる認識不足なのか分かりません。しかし、青少対や自治会等の地域社会が保護者の意向を知らなければ、その活動は無意味な自己満足となり、時間と労力と資金の無駄遣いとなってしまいます。

講演会の内容そのものより、家庭・学校・地域の関わり方について考える、良いきっかけとなる講演会でした。

（青少対　田中翔三）

受賞おめでとうございます（敬称略）

▽厚生大臣特別表彰
中島　ナミ（東自治会）

くがはら俳句

荷を負ひし人の世の旅雁わたる
（松本美代）

天に刺す樹林山湖に秋の声
（山本すがる）

委員会からのお知らせ

トルコや台湾で発生した大地震は記憶に新しいところですが、松仙小学校においても、災害に備えて耐震補強工事を七月中旬から行っています。

まず、教室の壁は改修され、堅固になります。さらに、建物の間に伸び縮みする継手を入れて校舎同士を繋ぎ、窓も強化ガラスに交換します。加えて、吊下げ式の照明は地震の際に落下する危険があるので、天井にビルトイン、蛍光灯も増設します。

工事は、十月中旬まで行われますが、規模を段階的に縮小しながら実施します。

ご承知のとおり、学校は災害時に安全確保の拠点として機能します。一連の工事を経て安全に生まれ変わった校舎が、今後地域の子どもたちの学習する場になります。

一方、老朽化した体育館の建替えに向けても、計画が進行中です。今年度中に設計図が完成し、来年度にも着工の予定です。工事中は様々な影響が予想されますが、近隣の迷惑にならないかたちで進められるものと思います。

▼編集後記

○この夏は殊のほか酷暑続きで、その中の水禍は、自然の教えとして等しく示されております。

○大勢の皆様が盛夏に鍛えた行事や催しは、秋への推移を語る恰好の取材であり、地域の皆様に送るニュースとして参りたいものです。

○まつりの秋、稔りの秋のこの季節は、特に地域の催しも多く、活気に満ちております。

まちのニュースなど「いわせてもらお」〈朝日新聞日曜版〉等の要領でお寄せ下されば幸いです。

（かわまた）